



豪太

きながら。いまだったら、きつと、そのまま二人でどこかへ行ってしまうでしょう。でも、やっぱり別れて帰ってくるというのが、かえって新鮮だった」

兵庫県・淡路島に生まれた大地が、子供のころあこがれていたのは舞妓さん。心のアイドルは植木等だった。七三年、宝塚歌劇団に入団した大地は早くから才能を注目され、宝塚の看板スターとして活躍する。八五年に退団したあと、日本を代表するミュージカルスターとしてカリスマ的人気を誇っている。今年には約十二年間の宝塚時代より、その後の舞台生活が長くなった節目の年でもある。

「よくわたしは完璧主義者といわれるんですが、そうじゃない。自信がないから、自分に「ぜったい大丈夫」と言い聞かせ、いろんなことをギリギリまで妥協しないで、ちゃんとやりたいだけ」

仕事がオフのときは、家で猫とのんびり。そして夫で俳優の松平健と海外へ行く。

「特にブロードウェイがあるニューヨークが好き。東京にいるとあまり歩かないので、主人と二人で、



人間万歳

大地真央プロフィール

兵庫県生まれ。73年、宝塚歌劇団に入団し、月組トップスターとして脚光を浴びる。85年に退団後、日本を代表するミュージカルスターとして活躍。今年6、7月には、芸能生活25周年を記念したりサイトを開いた。

ジョギングシューズを履いて、街を歩き回ります」
公演初日の約一カ月半前、スタジオ稽古が始まった。稽古着に着替えた大地に、相手役の新聞記者を演じる若手のホープ、山口祐一郎も加わる。

「第九場のスペイン広場、王女にブラッドレーが声をかけるところから、もう一回いきます。真央さんと山口さん、お願いします」
演出の山田和也の声が響く。
「やあ、君か、偶然だな」
「ブラッドレーさん」……。

最後の稽古は初日未明

大地は言う。

「舞台って、一見、毎日同じことの繰り返しのようにですけど、現実はずうじゃない。映画とは違いますね。人間ですから、ベストコンディションを維持するのは、肉体的にも精神的にも本当に難しい。でも、お客さまは、そのとき初めて見る方がほとんどだから、いちばん気をつけるのは鮮度です。毎回、新鮮な気持ちで、舞台の上で三時間生きること集中する。その積み重ねなんです、舞台って」
初めての「ローマの休日」舞台化は、予想を超えた試行錯誤の連続だった。最終の通し稽古は、初日当日の未明に始まった。

王女の養育係、ヴィアバーク伯爵夫人を演じる草笛光子は言う。
「大地さんみたいに、王女役が似合う人も珍しい。最後の通し稽古が終わったのは、初日の朝四時近

右/「休日」に髪の毛のトリートメントをする。(衣装協力=ビプロス ジャパン株式会社)上/9月中旬に稽古場で「顔寄せ」が行われ、全出演者が顔を揃えた